

事業概要

第2号

平成11年度

富山県中央植物園

目 次

I 庶務		IV 資料収集事業	
沿革	1	標本資料	14
整備概要	1	文献資料	14
利用案内	1		
組織	3	V 調査研究事業	
平成11年度招聘客員研究員	4	研究体制	15
講師等派遣	4	研究課題	15
委員等	4	研究報告5号の発行	15
研修生等の受入	4	平成11年度研究発表	15
視察研修等受入	5	論文・学会等発表	16
県政バス	5	研究集会	16
II 植物管理事業		VI 参考資料	
収集植物	6	施設概要	17
雲南省からの導入植物	7	施設平面図	18
交換・寄贈による導入植物	7	雲南温室の概要	19
購入植物	8	整備事業費	20
		利用統計	20
III 教育普及事業		例規	22
催事記録	9		
印刷・出版	11		
新聞・雑誌への寄稿	12		
新聞・テレビ等の取材	12		
リファレンス状況	13		
新聞記事	13		

I 庶務

1. 沿革

富山県では県内の優れた植生地や公園・緑地などをそれぞれ特色のある専門植物園として整備し、これらをネットワーク化することにより、県土全体として一つの植物公園の形成をめざす全国的にもユニークな「富山県植物公園構想」を推進している。

「富山県中央植物園」は、この植物公園ネットワークの核となる施設として平成元年から整備が進められ、平成5年10月5日に屋外展示園を開園し、その後、展示温室やサンライトホール、中国雲南省の植物と「石林の石」を配した雲南コーナー等を整備して平成8年4月26日に全面開園した。平成10年10月には中国雲南省から導入した植物を育成・展示するための「雲南温室」の建設が始まり、平成12年2月18日に完成、一般公開された。

昭和58年 4月	「富山県民総合計画」において植物公園設置の検討
昭和60年 2月	「富山県グリーンプラン」において植物公園設置の計画提示
昭和60年 7月	「富山県植物公園構想懇談会」設置
昭和63年12月	同懇談会において「富山県植物公園基本構想」策定
平成元年 6月	「富山県植物公園整備委員会」設置
平成元年11月	同委員会から「富山県植物公園について」報告 (中央植物園・専門植物園の機能分担、整備方向、候補地等)
平成 2年 3月	富山県中央植物園設計競技
平成 2年 8月	基本設計
平成 3年 5月	造成工事起工式
平成 5年10月	屋外展示園開園
平成 7年 9月	建築工事定礎式
平成 8年 4月	全面開園
平成 8年 5月	中国雲南省昆明植物研究所と友好協定調印
平成10年 8月	全面開園後の入園者30万人達成
平成10年10月	雲南温室着工
平成12年 2月	雲南温室完成

2. 整備概要

(1) 所在地 富山県婦負郡婦中町上轡田42

(2) 敷地面積 24.7 ha

(3) 主要施設

① 管理研修棟	1棟	2,090㎡
② 展示温室(熱帯雨林植物室、ラン温室、熱帯果樹室、高山植物室、雲南温室)	5棟	2,713㎡
③ 栽培温室(熱帯温室、暖温帯室、温帯温室、冷室、雲南温室他)	5棟	1,077㎡
④ サンライトホール・エネルギー棟	1棟	1,614㎡

(4) 展示植物 約5,200種類、97,000本(株)

・屋外展示園 約1,700種類
 ・展示温室内 約1,100種類
 ・栽培温室・圃場 約2,400種類

(5) 事業費 約92億円 財源: 地域総合整備事業債(ふるさとづくり事業)

(6) 整備期間 平成元年度～平成7年度

3. 利用案内

(1) 開園時間 午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)

冬季(11月～2月)は午前9時～午後4時30分、入園は午後4時まで

(2) 休園日 毎週木曜日(木曜日が国民の祝日の場合はその翌日)、国民の祝日の翌日、および12月28日～1月4日

(3) 入園料

区分	個人	団体(20人以上)
大人(高校生以上)	600円	480円
小人(小・中学生)	300円	240円

減免(全額)

- ① 小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校、養護学校の児童又は生徒が、毎月第2・4土曜日において入園するとき。
- ② 県内の児童・生徒、引率者が教育活動又は社会教育関係団体の教育活動として入園するとき。
- ③ 県内の児童福祉施設、身体障害者更生援護施設、知的障害者援護施設に入所している者およびこれらの引率者が入園するとき。
- ④ 県内に居住する身体障害者手帳の所持者及びその介添者が入園するとき。
- ⑤ 県内に居住する療育手帳を所持する者及びその介添者が入園するとき。
- ⑥ 県内に居住する精神障害者保健福祉手帳の所持者及びその介添者が入園するとき。

(4) 交通機関

●バス利用

- ・富山地鉄バス JR富山駅(12番乗場)発 八尾行き(長沢又は熊野経由) / 山田温泉行き / 婦中保養センター行き / 萩の島行き 分田(ぶんでん) 停留所下車、徒歩約20分

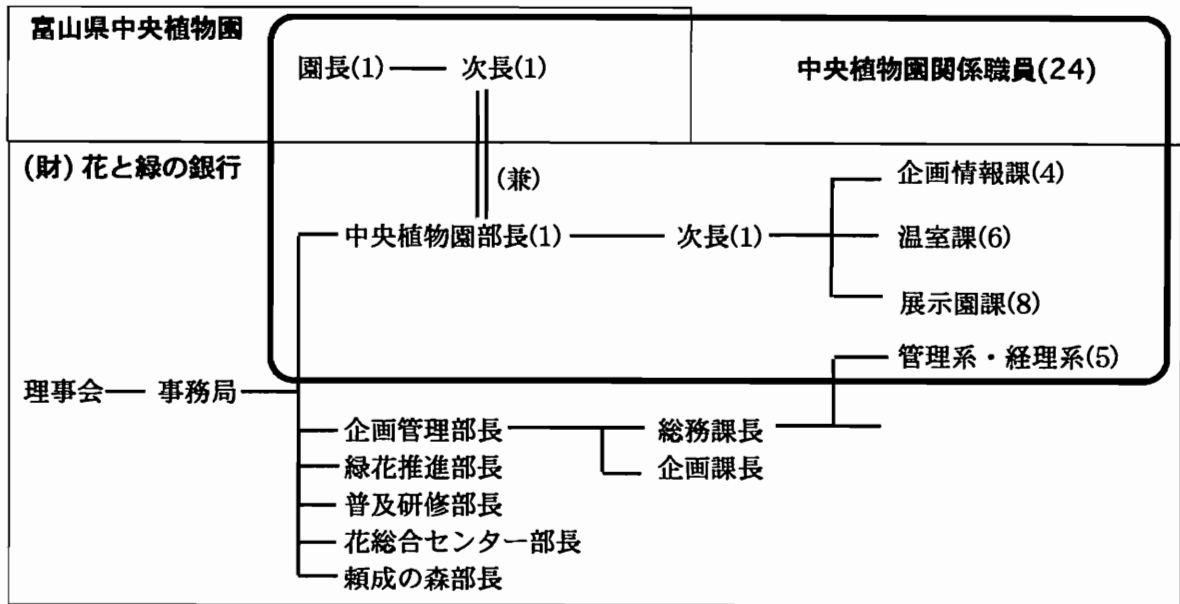
●自動車利用

- ・富山市中心部より約15分
- ・北陸自動車道富山インターより婦中大橋経由約15分
- ・JR速星駅より約8分



4. 組織

(1) 組織図



(2) 職員(平成11年4月1日現在)

富山県中央植物園

園次	長	黒川	道
	長	小見	豊

(財) 花と緑の銀行 中央植物園部

部長(温室課長兼務)	小見坂	道	豊弘	県中央植物園次長
次長(展示園課長兼務)	小坂	道	豊弘	県出向職員(主幹)
企画情報課	課長 中橋	主任技師 田屋伸一	政司誠一郎	県出向職員(副主任研究員) 県出向職員(技師)
温室課	主任研究員 神吉	技師 戸田	敏成	県出向職員(主任研究員)
	技師 兼本	技師 大原	隆信	
	技師 兼本	技師 大原	隆信	
展示園課	主任研究員 大山	主任研究員 志内	寿利	県出向職員(主任研究員)
	技師 兼本	技師 大原	隆信	県出向職員(主任研究員)
	技師 兼本	技師 大原	隆信	
	嘱託 有桐	嘱託 有桐	弘秀	

(財) 花と緑の銀行 企画管理部(一部)

総務課(一部)	主任 荒恒	主任 川崎	徹一
	嘱託 島野	嘱託 幸綾	子子
	嘱託 老田	嘱託 田ひと	み

5. 平成11年度招聘客員研究員

氏名	現職	指導分野	期間
村田 源	元京都大学理学部講師	顕花植物の分類学 植物群の数量的解析 シダ植物の分類学	平成11. 11. 1～11. 3
関 太郎	広島大学名誉教授		平成11. 11. 15～11. 18
松本 定	国立科学博物館筑波実験植物園主任研究官		平成11. 11. 29～12. 2

6. 講師等派遣

年月日	氏名	内容	依頼者
11. 6. 21	神戸 敏成	深谷自然環境保全地域における保護育成作業の指導	八尾町自然環境保全審議委員会
8. 5	山下 寿之	婦中町放棄水田への植栽に関する指導	富山農地林務事務所長
8. 19	神戸 敏成	深谷自然環境保全地域における保護育成作業の指導	八尾町自然環境保全審議委員会
9. 19	橋屋 誠	「有峰の秋を楽しむ集い」講師	富山県有峰青少年の家所長
9. 24	山下 寿之	山田村における生活環境林の植生調査	富山農地林務事務所長
10. 3	橋屋 誠	「森林浴とキノコ狩り」講師	頼成の森森林科学館館長
10. 6	神戸 敏成	深谷自然環境保全地域における保護育成作業の指導	八尾町自然環境保全審議委員会
10. 12	中田 政司	富山大学非常勤講師(～12. 3. 31)	富山大学長

7. 委員等

年月日	氏名	内容	依頼者
平成11年度	黒川 道	国立科学博物館筑波研究資料センター 筑波実験植物園運営委員会運営委員	国立科学博物館長
平成11年度	黒川 道	(社)日本植物園協会評議員	(社)日本植物園協会
平成11年度	黒川 道	(財)服部植物研究所評議員	(財)服部植物研究所
平成11年度	中田 政司	評議員・編集委員	植物地理・分類学会
平成11年度	神戸 敏成	絶滅危惧植物対策委員会委員	(社)日本植物園協会
平成11年度	橋屋 誠	幹事・編集委員	関西菌類談話会

8. 研修生等の受入

(1) 植物栽培技術研究者交流事業による中国雲南省昆明植物研究所からの派遣研修生

期間	氏名	現職
平成10年10月～11年10月	尹 撃 (Yin Qing)	エンジニア
11年 1月～11年12月	匡 建 (Kuang Jian)	エンジニア
11年10月～12年 9月(予定)	田 代科 (Tian Daike)	助理研究員
12年 1月～12年 9月(予定)	費 勇 (Fei yong)	副研究員

(2) 平成11年度博物館実習生

氏名	所属	期間
猪股 章裕	富山大学理学部生物学科	平成11. 8. 2～8. 13
梅本 康二	富山大学理学部生物学科	平成11. 8. 3～8. 13
山田 智子	富山大学理学部生物学科	平成11. 8. 16～8. 27
荻野 聖代	富山大学理学部生物学科	平成11.12. 2～12.15

(3) 平成11年度中堅教員研修受講者(平成11. 8. 2~8. 4)

氏名	所属	氏名	所属
小林真紀子	富山中部高等学校	廣島 晃	宮川小学校
道元 唯子	しらとり養護学校	出口 晶弘	白萩西部小学校
谷本 浩美	朝日丘小学校	早貸永貢子	伏木中学校
清雄 修司	平小学校	今堀ひとみ	城端中学校
石川 恭子	浜黒崎小学校	田島眞喜子	興南中学校

9. 視察研修等受入

年月日	視察研修者	内容	人数
11. 6. 2	小淵沢長区長会	園内視察	7
6. 5	遼寧省農業技術研究者代表団	園内視察	17
7. 4	石川県に自然史博物館を実現する会	施設の視察・研修	20
7. 7	上市高等学校総合学科1年生	授業の一環としての施設見学	23
7.14	(財)新潟県都市緑化センター	行政視察(施設および活動について)	3
7. 9	小杉高等学校総合学科1年生	授業の一環としての施設見学	2
8.10	小松市立小・中学校校務員	園内見学と植物に関する講習	40
8.27	東京都多摩動物公園	積雪地における温室についての調査	2
9.10	大韓民国江原道環境実務協議団	園内視察	4
9.10	富山県議会農林水産常任委員会	園内視察	14
9.21	年をとらないための生活講座	施設見学	100
9.17	富山商工会議所婦人会	園内視察	28
9.27	上婦負小学校教育課程研究会理科部会	園内見学と植物に関する講習	16
9.29	庄川町畑直町内会	園内視察	40
10. 1	速星中学校2年生	職場訪問学習	2
10.16	中国民用航空東北管理局副局長他	園内視察	4
10.26	ボランティアグループ アロマ友の会	園内見学と研修	13
10.27	大韓民国江原道平昌郡視察団	園内見学	20
10.27	富山県農業機械商業協同組合さくら会	園内見学と研修	10
10.30	富山県民カレッジ受講生	施設見学	30
11. 8	朝日町高砂老人会	園内視察	32
11. 9	雄山高等学校生活文化科3年	授業の一環としての施設見学	39
11.12	栃木県立博物館副館長	植物園の施設、運営等に関する視察	1
12. 8	北陸4県農業構造改善事業関係者	園内視察	15
12.19	APOC7実行委員会国際会議部会長他	APOC7蘭会議への参加依頼と調査	3
12. 2. 29	富山周辺地区会	園内視察	10
3. 25	富山市山室町内納税貯蓄組合連合会	園内視察	50

10. 県政バス

年月日	内容	年月日	内容
11. 5. 11	都市計画課・街の緑りの緑	11. 6. 23	林政課・とやま植物園めぐり
5. 12	林政課・花の名所めぐり	6. 25	林政課・花の名所めぐり
5. 21	林政課・とやま植物園めぐり	6. 28	都市計画課・街の緑りの緑
5. 25	都市計画課・街の緑りの緑	10. 22	都市計画課・街の緑りの緑
5. 28	林政課・花の名所めぐり	11. 5	林政課・とやま植物園めぐり
6. 11	林政課・花の名所めぐり		

Ⅱ 植物管理事業

1. 収集植物

区 画	代表的な植物	種類数	個体数
展示温室		<u>1,126</u>	<u>5,882</u>
熱帯雨林植物室	ビヨウタコノキ、ヘゴ、ゾウタケ	410	1,472
ラン温室	カトレヤ、デンドロビウム、バンダ	236	2,157
熱帯果樹室	バナナ、パパイヤ、パイナップル	291	1,275
高山植物室	コマクサ、クロユリ、プリムラ類	109	878
雲南温室	トウツバキ、カンレンボク	80	100
屋外展示園		<u>1,660</u>	<u>65,534</u>
<u>世界の植物ゾーン</u>		<u>896</u>	<u>42,851</u>
ツツジ・シャクナゲ園	レンゲツツジ、西洋シャクナゲ	83	5,220
ポタン・シャクヤク園	中国ポタン、西洋シャクヤク	106	1,672
香りの植物	ニオイスマイレ、ラベンダー、バラ	59	2,976
繊維の植物	ワタ、コウゾ、ミツマタ、ケナフ	34	755
染めの植物	ベニバナ、アイ、コガネバナ	49	3,266
芝生広場	アメリカハナノキ、サルスベリ	60	7,203
サクラ・ウメ園	ウメ、モモ、リンゴ、カリン	129	3,114
花のプロムナード	ソメイヨシノ、サトザクラ	21	1,223
クレマチス園	テッセン、クレマチス類	133	434
球根植物	原種チューリップ、ヒガンバナ	58	12,383
雲南の植物	ハンカチノキ、シナユリノキ	78	513
北米の植物	ユリノキ、カシワバアジサイ	59	1,216
温室周辺	ワシントンヤシ、ヤタイヤシ	30	3,121
<u>日本の植物ゾーン</u>		<u>761</u>	<u>20,423</u>
シイ・カシの森	ヤブツバキ、スタジイ、タブノキ	51	582
クリ・コナラの森	クリ、クヌギ、コナラ、ガマズミ	143	2,018
ミズナラ・ブナの森	ブナ、ミズナラ、ユキツバキ	158	4,405
沼沢・溪谷の植物	ツリフネソウ、クリンソウ	96	1,407
低地草原	オミナエシ、キキョウ	55	1,118
山地草原	ゼンテイカ、マツムシソウ	68	2,634
湿地の植物	ミズアオイ、アサザ、コウホネ	90	5,469
ロッケリー	フジアザミ、エッチュウミセバヤ	24	604
河原の植物	アキグミ、カワラケツメイ	28	830
海岸の植物	クロマツ、ハマナス、イソギク	48	1,356
管理区域		<u>2,397</u>	<u>26,015</u>
栽培温室、栽培圃場	雲南の植物	662	2,279
駐車場、入口広場	琉球列島の植物、他	約1,500	約7,400
	トチノキ、ベニバナトチノキ	235	16,336
園全体			
平成11年度末		約5,183	約97,431

2. 雲南省からの導入植物

平成5年6月に合意した第一次植物導入計画、および平成6年12月に合意した第二次植物導入計画に基づき、昆明植物研究所を通じて平成12年1月までに662種類の中国雲南省産植物を導入した。これまでの導入経過は下表のとおりである。

導入回	導入年月日	導入植物	種類数	個体数
第一次導入				
第1回	平成5年10月	ポタン属、トウツバキなど(苗/種子)	67	300
第2回	平成6年3月	シャクナゲ属、サクラソウ科など(苗/種子)	39	126
第3回	平成6年11月	シャクナゲ属、サクラソウ科など(苗/種子)	18	151
第二次導入				
第4回	平成7年4月	雲南甘草、華山松など(種子)	16	-
第5回	平成7年10月	迎春柳、皮袋香、山蠟梅など(苗/種子)	25	134
第6回	平成8年2月	毛葉柿、峨嵋薔薇、柳蘭など(種子)	57	-
第7回	平成8年2月	烏頭、野八角、鶏肉参など(苗)	46	257
第8回	平成9年1月	柏木、川貝母、雲南鉄杉など(種子)	40	-
第9回	平成9年1月	喜樹、紅姜花、白蘭花など(苗)	68	339
第10回	平成9年12月	牛舌草、鉄刀木、使君子など(苗/種子)	106	107
第11回	平成10年12月	牛蹄藤、大葉桂、紅杉など(苗)	99	495
〃	平成11年1月	光葉楓、小葉木蓮、直茎苜など(種子)	13	-
第12回	平成12年1月	青皮樹、安息香、豹子花など(苗/種子)	122	470
合 計			*662 (総種類数)	2,509

*補充分の重複種があるため、各回の種類数の合計は662を超える。

3. 交換・寄贈による導入植物

(1) 個人、機関からの寄贈

氏名(敬称略)	導入植物
赤城自然園	ツツジ属コレクションなど58種類147点
阿閉 幸子	ヒトツバタゴ、椿園芸品種など84種類90点
斉藤 亀三	ラン科植物27種類32点
佐藤 久三	ノハナショウブ
富山国際健康プラザ	シュクシャなど3種3点
長井 真隆	オオニガナ、ムカゴニンジン、シカクイ
藤本 誠	タマノカンザシなど7種類30点
宮川 敏	<i>Lepidorrhachis mooreana</i> (H.Wendl. et Drade) Burret

(2) 植物園協会種苗交換による導入

年月日	植物園	導入植物
1999.5.26	神奈川県フラワーセンター大船植物園	ヤマユリ、ササユリ、エゾスカシユリ
2000.2.28	京都府立植物園	<i>Amorphophallus bulbifer</i> (Curtis) Bl.

(3) 種子交換による導入

年月日	植 物 園	導入植物
11. 4. 30	マラカイ大学植物園(ベネズエラ)	<i>Chrysobalanus icaco</i> 他 14種
5. 5	ベルリン-フンボルト大学植物園(ドイツ)	<i>Heracleum sphondylium</i> L. 他 28種
5. 10	ターリン植物園(エストニア)	<i>Viola elatior</i> Fries 他 22種
6. 7	国立樹木園(フランス)	<i>Lonicera nigra</i> L. 2種
7. 12	ハンガリー科学アカデミー生態・植物学研究所植物園(ハンガリー)	<i>Acer tatalicum</i> L. 他 23種
7. 28	ゲーテ大学植物園(オランダ)	<i>Campanula latifolia</i> L. 他 50種
9. 24	Ing. Carlos Eralio R. Ruiz	<i>Nolana napiformis</i> Phil. 他 25種

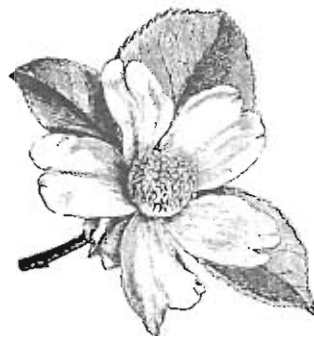
4. 購入植物

(1)温室

ゾウタケ、チョウノスケソウ、センジュガンピ、*Geranium himalayense*他 59種 150株

(2)展示園

ハナニラ、ポポー、コオニユリ、フクジュソウ他 12種 461株



Ⅲ 教育普及事業

1. 催事記録

(1) 企画展示

開催場所：サンライトホール、開催時間：9:00～17:00（11月～1月は16:30まで）

催事名称	期間	内容
野生ラン展	5/7(金)～5/9(日)	富山県蘭協会との共催による野生ランの展示
クレマチス展	5/21(金)～6/2(水)	クレマチス園で野生種、園芸品種を展示
植物写真展	6/18(金)～6/30(水)	講習会で撮影された写真作品の展示
お盆の植物展	8/13(金)～8/18(水)	お盆と仏教に関係ある植物の展示
二口善雄画伯追悼植物画展	9/23(木)～10/6(水)	二口善雄画伯の作品と遺品植物画展
私の植物写真展	11/5(金)～11/17(水)	応募作品による植物写真の展示
干支にちなんだ植物展	12/10(金)～1/12(水)	卯(ウサギ)と辰(タツ)に因む植物展示
私の植物画展	1/14(金)～2/2(水)	応募作品による植物画の展示
雲南温室完成記念展	2/18(金)～3/8(水)	雲南省の植物と自然、文化の紹介
平成11年度研究展 「植物園を支える研究活動(4)」	3/10(金)～3/22(水)	職員の研究活動の展示発表

(2) 観察会・植物教室

催事名称	講師	開催日	開催時間	開催場所	参加者数
夜桜観賞	-	4/10(土) 11(日)	18:00 ～21:00	植物園内	2,573
夏休み小学生植物教室	職員	7/26(月) ～28(水)	10:00 ～16:00	実習室	16
ゲッカビジン観賞	-	7/18(日) ～19(月)	19:00 ～21:00	展示温室	1,420
親子植物教室 「どんぐりで遊ぼう」	職員	10/17(日)	9:00 ～16:00	研修室	69

(3) 講座・講習会

催事名称	講師	開催日	開催時間	開催場所	参加者数
第12回植物画講習会	豊田路子・岡田宗男 (フェアリーリングの会)	4/17(土) ・18(日)	10:00 ~16:00	研修室	46
講演会 「世界のランの秘密」	斉藤亀三 (国際ラン委員会委員)	5/9(日)	13:00 ~16:00	研修室	60
和紙を作ってみよう	東 秀幸・上口恵子 (平村和紙工芸研究館)	5/28(金) ~30(日)	13:00 ~16:00	サライトホール	152
植物写真の撮影法 「やさしい花の撮り方教室」	前佛 勇 (富山県写真家協会参与)	5/30(日)	13:00 ~16:00	研修室 園内	44
植物学講座 「染色体の観察」	益淵正典 (広島文教女子大学教授)	7/11(日)	10:00 ~16:00	実習室	20
走査電子顕微鏡で植物を観察する	職員	8/1(日)	13:00 ~16:00	実習室	13
やさしいバイオテクノロジー	職員	9/11(土) ・12(日)	10:00 ~16:00	実習室	7
第13回植物画講習会	豊田路子・岡田宗男 (フェアリーリングの会)	9/25(土) ・26(日)	10:00 ~16:00	研修室	33
きのこ相談会	職員	10/10(日) ・11(月)	10:00 ~16:00	サライトホール	36
植物染め講習会	足立紀美子 (女子美術大学講師)	11/13(土) ・14(日)	10:00 ~16:00	実習室	23
第7回TOYAMA植物フォーラム 「植物と香り」	中村祥二 (株)資生堂香料開発室顧問 平林 浩 (京成バラ園芸(株)研究開発 部長) 半田 高 (筑波大学講師) 荒井かずみ (エッセイスト)	11/28(日)	13:00 ~16:00	高志会館	140
平成11年度研究発表 「植物園を支える研究活動(4)」	職員	3/12(日)	13:00 ~16:00	研修室	40

(4) 月例行事

●親子オリエンテーリング(7回)

親子で植物の問題に取り組みながら園内を散策(開催時間:10:30~12:30)

開催日:4/18(日)、5/16(日)、6/20(日)、7/18(日)8/15(日)、9/19(日)、
10/17(日)

●日曜植物案内(11回)

園内の植物をテーマに沿って植物園の職員が解説(開催時間:11:00~12:00)

開催日	テーマ	10/3(日)	キクのいろいろ
4/4(日)	高山植物	11/7(日)	紅葉のひみつ
6/6(日)	クレマチス	12/5(日)	熱帯の花木
7/4(日)	初夏の植物	1/9(日)	有用植物
8/1(日)	染めの植物	2/6(日)	熱帯の果物
9/5(日)	秋の七草	3/5(日)	ランのいろいろ

2. 印刷・出版

(1)「植物園だより」の発行

●1999年4月号(通巻11号)

特集-球根植物/活動報告-平成10年度 研究発表会「植物園を支える研究活動(Ⅲ)/温室だより-ヒスイカズラ/話題の植物-クロタリヤ・アッサミカ(マメ科)/屋外展示園のみどころ-モモ/植物学解説シリーズ植物生態学(4)生存戦略としての植物の生活様式 1/これからが見ごろの園内の植物/イベント案内

●1999年7月号(通巻12号)

特集-お盆の植物/活動報告-春のイベントから 講演会「世界の野生ランの秘密」ほか/私の研究-日本海側と太平洋側での植物の分化(高橋一臣)/温室だより-イエアリシヤン(ガガイモ科)/話題の植物-ベニバナ/屋園のみどころ-カラスウリとキカラスウリ/植物学解説シリーズ 植物生態学(5)生存戦略としての植物の生活様式 2/これからが見ごろの園内の植物/イベント案内

●1999年10月号(通巻13号)

特集-香りの植物/活動報告-夏のイベントから 植物学講座「染色体の観察」、夜間開園「ゲッカビジンの観察」ほか/私の研究-野生のサクラの分類(大原隆明)/温室だより-バルボフィラム・ファレノプシス(ラン科)/話題の植物-アキギリ/屋外展示園のみどころ-種子の散布/植物学解説シリーズ植物生態学(6)生存戦略としての植物の生活様式 3/これからが見ごろの園内の植物/イベント案内

●2000年1月号(通巻14号)

特集-第7回TOYAMA植物フォーラム 植物と香り/活動報告-秋のイベントから 二口善雄画伯追悼植物画展ほか/温室だより-アンブレカム・セスキペダーレ(ラン科)/話題の植物-千支「辰」にちなむ植物/屋外展示園のみどころ-ヤマハンノキ/植物学解説シリーズ 植物生態学(7)生存戦略としての植物の生活様式 4/おしらせ-雲南温室がオープンします

(2)「富山県中央植物園植物管理記録」第3号の発行(22頁、平成12年3月31日)

雲南省からの導入植物(4)/雲南省から導入した植物の温室植栽(1)/雲南省から導入した植物の開花(1)/種子交換による導入植物/寄贈による導入植物/1999年開花結実状況

(3)「富山県中央植物園研究報告」第5号の発行 - 調査研究事業参照

(4)「事業概要」第1号(平成10年度)の発行(24頁、平成12年2月10日)

(5)パンフレット「雲南温室について」、リーフレット「雲南温室の概要」の印刷

(6) 雲南温室完成記念絵葉書(写真)の発行

8種: チョウキンレン、ウンナンサクラソウ、オオシロバナシャクナゲ、キボタン、ハンカチノキ、ベニバナサクラソウ、トウツバキ「早牡丹」、トウツバキ「楚雄茶」

(7) 園内ちらし「これだけは覚えて帰ろう!-植物園で見ごろの植物」の印刷

年月日	掲載植物	
	展示温室	屋外展示園
11. 4. 2	コチョウラン、ヒスイカズラ、プリムラ・マラコイデス	モモ、カタクリ、コシノヒガンザクラ
4. 28	コチョウラン、タシロイモ属の一種、ノボタンカズラ	ボタン、ハンカチノキ、センダイハギ
5. 8	コチョウラン、ノボタンカズラ、クロユリ	ボタン、センダイハギ、タニウツギ
5. 11	トーチジンジャー、ノボタンカズラ、バナナ	ハマナス、サンショウバラ、ヤマボウシ
6. 2	トーチジンジャー、ヘリコニア、エーデルワイス	センダン、サンショウバラ、ヤマボウシ
6. 28	トーチジンジャー、ヘリコニア、カライトソウ	アサザ、クチナシ、ハンゲショウ
7. 7	ヘリコニア、カライトソウ、バイナップル	アサザ、クチナシ、ハンゲショウ
7. 14	ヘリコニア、カライトソウ、バイナップル	ヒオウギ、ハマナデシコ、キスゲ
8. 13	バフィオペディルム、デンドロビウム・セクンドゥム、ベニバナシュクシャ	トロロアオイ、ヒョウタン、オミナエシ
8. 20	バフィオペディルム、カトレヤ・グッタタ、リュウビンタイ	ナツズイセン、ヒョウタン、フジバカマ
8. 25	バフィオペディルム、カトレヤ・グッタタ、リュウビンタイ	ナツズイセン、フジバカマ、ノカンゾウ
9. 2	バフィオペディルム、レリオカトレヤ、インドソケイ	フジバカマ、ノカンゾウ、サワギキョウ
9. 22	コチョウラン、バフィオペディルム、フラグミベディウム	コガネバナ、サワギキョウ、ツリフネソウ
10. 1	コチョウラン、バフィオペディルム、ジゴベタルム	チョウキンレン、ナンキンハゼ、メグスリノキ
12. 17	リュウガン、フラグミベディウム、カトレヤ	ユチャ、コトネアステル・フランシエティエ、ワビスケ
12. 3. 17	フクベノキ、カンキツ類、トウツバキ	マンサク、ウメ、フクジュソウ

3. 新聞・雑誌への寄稿

(1) 北陸中日新聞「中央植物園の花と緑」

年月日	掲載植物	執筆者	年月日	掲載植物	執筆者
11.4. 2	シュンラン	神戸 敏成	11. 9.25	イヌサフラン	中田 政司
4.16	アセビ	大原 隆明	10. 2	ガマズミ	山下 寿之
4.23	チョウノスケソウ	神戸 敏成	10. 9	アキグミ	志内 利明
4.30	ショウブ	橋屋 誠	10.16	アメリカセンダングサ	山下 寿之
5. 7	フジ	大宮 徹	10.23	トチノキ	高橋 一臣
5.14	ヤマボウシ	高橋 一臣	10.30	クチナシ	橋屋 誠
5.21	クロユリ	神戸 敏成	11. 6	メグスリノキ	山下 寿之
5.28	ジャケツイバラ	大宮 徹	11.13	ムラサキシキブ	高橋 一臣
6. 4	スイカズラ	大原 隆明	11.20	バンレイシ	兼本 正
6.18	ミズキ	大宮 徹	11.27	ナギ	志内 利明
6.25	キハダ	高橋 一臣	12. 4	チョウキンレン	大宮 徹
7. 3	ハンゲショウ	橋屋 誠	12.11	リュウビンタイ	中田 政司
7.10	モクゲンジ	中田 政司	12.18	ドイツトウヒ	中田 政司
7.17	カワラナデシコ	志内 利明	12.25	コトネアステル・ グラウコピュツルス	大宮 徹
7.27	マツリカ	大原 隆明	12. 1. 8	ウメ	山下 寿之
7.31	ベニバナ	橋屋 誠	1.15	ヒオウギ	高橋 一臣
8. 7	カラスウリ	志内 利明	1.22	サキシマスオウノキ	大原 隆明
8.14	ハス	大原 隆明	1.29	キジュ	大宮 徹
8.21	キキョウ	橋屋 誠	2. 5	トウツバキ	志内 利明
8.28	ヤブカンゾウ	志内 利明	2.12	コーヒー	兼本 正
9. 4	バビルス	大原 隆明	2.19	グァバ	兼本 正
9.11	ジュズダマ	橋屋 誠	2.26	オオシロバナシャクナゲ	吉田めぐみ
9.18	ズミ	山下 寿之			

(2)その他

年月	掲載誌	タイトル	執筆者
平成11. 4	農耕と園芸	「新花き探索」 インカルピレア・マイレイ	神戸 敏成
11. 6	農耕と園芸	「新花き探索」 グラジオラス・トリコネミフォルニス	神戸 敏成
11. 8	農耕と園芸	「新花き探索」 カリッサ・スピナルム	神戸 敏成
11.10	農耕と園芸	「新花き探索」 ツリフネソウ属の一種	神戸 敏成
11.10	RHSJ(英国王立園芸協会日本支部会報)	日本の野生ギク	中田 政司
11.12	農耕と園芸	「新花き探索」 チョウキンレン	神戸 敏成
12. 2	農耕と園芸	「新花き探索」 コルクハウニア・エレガンス	神戸 敏成

4. 新聞・テレビ等の取材(職員が対応したもの)

- (1) 新聞 23件
- (2) テレビ 28件
- (3) ラジオ 9件
- (4) 雑誌等 2件

5. リファレンス(質問対応)状況

	平成8年度(7月から)	平成9年度	平成10年度	平成11年度
総数	140	243	334	493
内訳1 方法別				
(1) 口頭	65	84	118	179
(2) 電話	73	153	206	301
(3) 文書	2	6	9	13
内訳2 内容別				
(1) 同定(うちキノコ)	73 (50)	79 (58)	129 (73)	181(110)
(2) 園芸相談	25	73	103	159
(3) その他	42	91	102	153
内訳3 業種別				
(1) 一般	127	202	266	420
(2) マスコミ	11	35	59	55
(3) 植物関係者	2	6	9	18

6. 新聞記事(定期掲載を除く)

年月	記事内容
平成11年4月	夜桜鑑賞、ボランティア5人誕生他 7件
5月	紙漉き体験、クレマチス展、ラン講演会他 5件
6月	ヒスイカズラ開花他 3件
7月	ゲッカビジン観賞、青いカーネーションの展示他 8件
8月	お盆にちなむ植物展、猛暑に「悲鳴」他 6件
9月	二口画伯追悼植物画展、バルボフィラム・ファレノプシス開花他 11件
10月	きのこ相談会、チョウキンレンの開花他 11件
11月	香りの植物の展示、私の植物写真展他 9件
12月	干支「辰」に因んだ植物展他 7件
平成12年1月	私の植物画展、昆明植物研究所との共同研究他 9件
2月	中国雲南省の植物公開、雲南温室完成他 15件
3月	植物園の研究発表展、迎春花の開花他 14件

IV 資料収集事業

1. 標本資料(点数)

	平成3～10年度	平成11年度	合計
購入標本	3,000	0	3,000
収集標本	19,000	立山室堂平周辺植物調査資料他 500	19,500
寄贈標本 (敬称略)	3,768	中川定一(イトトリゲモ他) 5 正道美子(アメリカフウロ他) 140 川尻玲子(ハマスゲ) 1 古瀬延子(タンゴグミ(co-type)他) 171 上野達也(タヌキマメ他) 243 長井真隆(オオニガナ他) 7 佐藤久三(ノハナショウブ) 1 ロシア科学アカデミー極東支部生物土壌学研究所 1,736	6,072
合計	25,768	2,804	28,572

2. 文献資料(冊数)

(1) 単行本

		平成3～10年度	平成11年度	合計
購入	洋書	881	30	911
	中国書	249	24	273
	和書	742	17	759
交換 寄贈	洋書	52	0	52
	中国書	18	6	24
	和書	1,106	51	1,157
合計		3,048	128	3,176

(2) 雑誌

		平成3～10年度	平成11年度	合計
購入	洋書	1,836	280	2,116
	中国書	523	44	567
	和書	1,674	203	1,877
交換 寄贈	洋書	257	147	404
	中国書	52	18	70
	和書	422	216	638
合計		4,764	908	5,672

V 調査研究事業

1. 研究体制

氏名	職	担当分野・専門分野
黒川 逍	園長	植物分類学、地衣類
中田 政司	企画情報課長	植物細胞分類学、植物細胞遺伝学、染色体、キク属
大宮 徹	主任研究員	植物分類学、植物形態学、植物解剖学、マメ科
山下 寿之	主任研究員	植物生態学、植物社会学、常緑広葉樹林、種子生態
神戸 敏成	主任研究員	植物育種学、植物組織培養、花き植物、絶滅危惧植物
橋屋 誠	主任技師	植物分類学、菌類(キノコ)、地域フロラ
吉田めぐみ	技師	植物生態学、種生物学、高山植物
兼本 正	技師	植物細胞分類学、琉球列島フロラ、イラクサ科
高橋 一臣	技師	植物分類学、酵素多型、タケ科
大原 隆明	技師	植物分類学、地域フロラ、サクラ属
志内 利明	技師	植物分類学、トカラ列島フロラ、アオキ

2. 研究課題

- (1) 富山県の植物相と植生に関する調査
- (2) 富山県内の絶滅危惧植物の実態調査、増殖に関する研究
- (3) 導入植物の同定と利用に関する研究

3. 富山県中央植物園研究報告第5号の発行. 平成12年3月28日

- ・ Tadashi Kanemoto: Karyotype Analysis in Four Taxa of Aster (Asteraceae) Found in the Ryukyu Islands. (琉球列島産シオン属(Aster)4タクサの核型) (1-8)
- ・ Syo Kurokawa & Kwang Hee Moon: New Species and New Records in *Hypotrachyna* (Parmeliaceae). (ゴンゲンゴケ属の新種と新産地) (9-24)
- ・ 四分一平内・吉田考造: 富山県、立山中腹のブナ樹幹に着生する地衣 (25-33)
- ・ Toshinari Godo, Takayoshi Oku, Masahiro Mii & Masashi Nakata: In Vitro Culture for Preservation of Triploid Senno (*Lychnis senno* Siebolt et Zucc., 2n=36), a Valuable and Rare Ornamental Plant. (3倍体センノウの試験管内保存) (35-43)
- ・ Masashi Nakata, Hiroshi Kohda & Miwa Takeuchi: A Chromosome Observation on *Panax japonicus* (Araliaceae) using Conventional Orcein Staining and Fluorescent Chromosome Banding with CMA and DAPI. (オルセイン染色とCMA、DAPI蛍光分染によるトチパニンジンの染色体の観察) (45-51)
- ・ Toshinari Godo: Initiation and Proliferation of Embryogenic Callus Culture from Buds in Bulbs of *Tulipa praestans* Hoog. (*Tulipa praestans* の幼芽からのカルス誘導及び増殖) (53-57)
- ・ Toshiaki Shiuchi: Chromosome Numbers of Plants Cultivated in the Botanic Gardens of Toyama (1). (富山県中央植物園に栽培されている植物の染色体数 (1)) (59-63)
- ・ 吉田めぐみ・吉田 稔: ライチョウの棲息環境としての立山室堂平「丸山」の植生 (65-78)
- ・ 大原隆明: 富山県フロラ資料(4) (79-91)

4. 平成11年度研究発表「植物園を支える研究活動(4)」. 平成12年3月12日

- ・ 志内利明: 宮川流域のツリガネニンジン類
- ・ 中田政司: 富山県のムヨウラン属植物
- ・ 橋屋 誠: 富山県で記録されたきのこ(4)
- ・ 吉田めぐみ: ライチョウの棲息環境としての立山室堂平「丸山」の植生
- ・ 大宮 徹: 中央植物園が中国雲南省から導入した植物の"和名"
- ・ 高橋一臣: 日本海側のチマキザザと太平洋側のアマギザサの比較(3)
- ・ 大原隆明: チョウジザクラの本州東西間での形態の比較

- ・兼本 正：琉球列島固有のシオン属について
- ・山下寿之：常緑広葉樹二次林におけるハナガシ个体群の分布
- ・神戸敏成：貴重植物センノウの保存に関する研究

5. 著書・論文・学会発表等(富山県中央植物園研究報告第5号掲載分を除く)

黒川 道

- ・絶滅危惧植物と植物園-ヨーロッパにおける新しい動き. 日本植物園協会誌33号(1999).
- ・植物園の過去の栄光と今後の課題. 農業と科学12月号(1999).

中田政司

- ・Origin of cultivated mums (*Dendranthema grandiflora*) deduced from polymorphism of repetitive DNA. 日本遺伝学会第71回大会(1999). (共同発表)
- ・Diversity of pDA1501 repetitive DNA in the genus *Dendranthema*. 日本遺伝学会第71回大会(1999). (共同発表)
- ・生薬「竹節人參」の基原植物トチバニンジン *Panax japonicus* に関する研究 -俗にいう「薩摩人參」について-. 日本薬学会第120回年会(2000). (共同発表)

山下寿之

- ・分布北限域のオオツクバネガシを含むウラジロガシ林の群落構造 日本植生学会第4回大会(1999).

橋屋 誠

- ・京都西山周辺の植物目録. 114pp. 乙訓の自然を守る会(1999). (共著)
- ・立山地区動植物種多様性調査報告書 植物(高等菌類). 富山県自然保護課(2000). (分担執筆)

大原隆明

- ・チョウジザクラ *Prunus apetala* var. *apetala* の本州東西間における形態の差異. 日本植物分類学会第30回大会(2000).

志内利明

- ・ウマノスズクサ科植物におけるカルコン配糖体の分布. 日本植物学会第63回大会(1999). (共同発表)

6. 研究集会

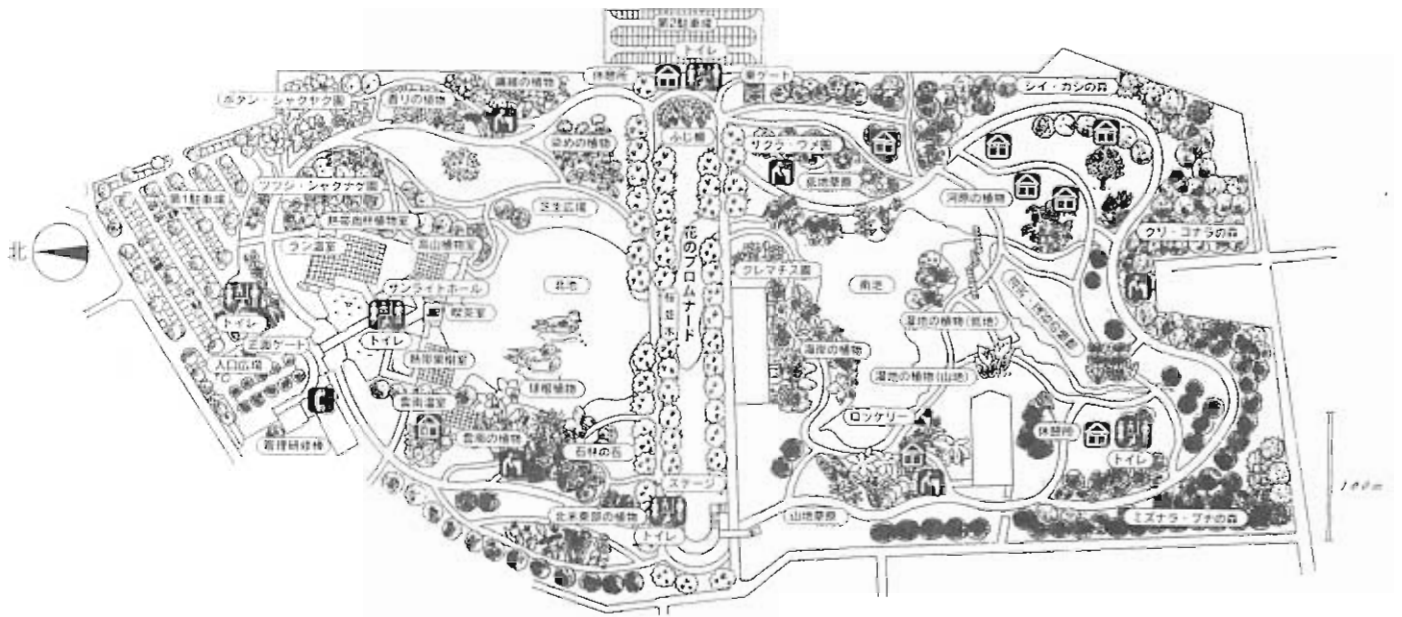
- ・植物学関係機関合同セミナー「ヘテロシス」
毎月最終火曜日の午後6時より研修室にて開催。参加者15～25名。

VI 参考資料

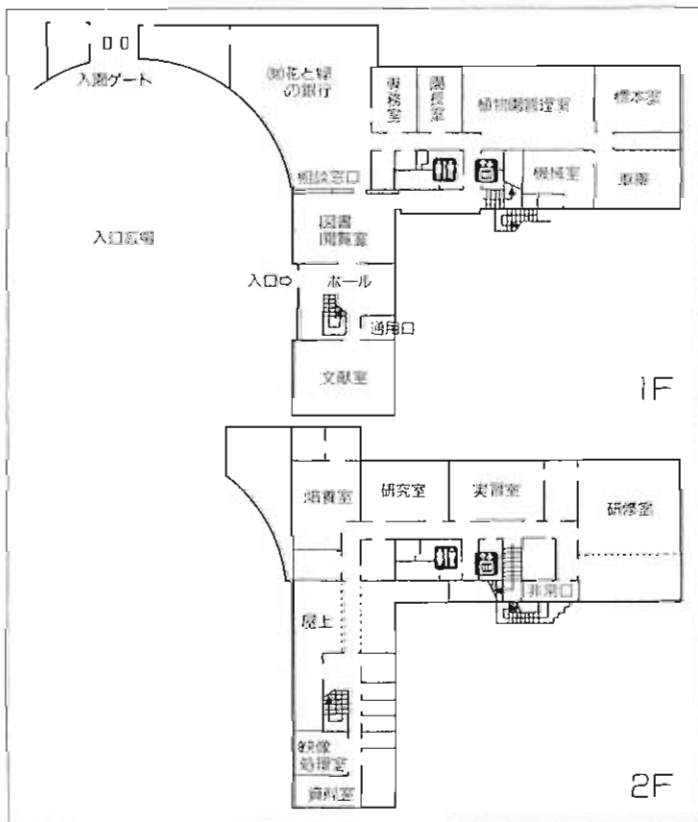
1. 施設概要(着工順)

施設	着工～完成	面積(m ²)	概要
屋外展示園	平成2. 12 ～5. 8	展示区域 16 (ha) 池 3 (ha)	世界の植物ゾーン、日本の植物ゾーン、花のプロムナード。観察用園路5,400m。
管理研修棟	4. 8～6. 3	2,090	園長室、植物園管理室、(財)花と緑の銀行事務室、専務理事室、研修室、実習室、文献室、図書閲覧室、研究室、培養室、映像処理室、標本室、車庫、機械室他。
作業エネルギー棟	4. 8～5. 1	303	ボイラー室、作業庫、休憩室他
栽培温室(5棟)	第1期 4. 8～5. 1 第2期 5. 8～6. 1	熱帯温室 302 温帯温室 113 暖温帯温室 302 冷室 151 雲南温室 208	
第一駐車場	4. 8～5. 1	11,600	380台収容
第二駐車場	8. 2～8. 4	3,444	150台収容
屋外便益施設	4. 8～6. 1	のべ393	5棟
サンライトホール	5. 8～6. 8	1,046	企画展示スペース、休憩用ベンチ、映像情報システム
エネルギー棟	5. 8～6. 8	568	展示温室用灯油ボイラー、変電設備、自家発電機、中央監視室他
展示温室(5棟)	第1期 5. 8～7. 1 第2期 6. 7～7. 6 第3期 7. 3～8. 3 第4期 10.10～12.2	ラン温室 400 熱帯雨林植物室 890 熱帯果樹室 587 高山植物室 300 雲南温室 536	
正面ゲート	7. 3～7. 9	171	
雲南コーナー	7. 9～8. 3	1,500	石林の石 500t、中国雲南省産の植物
外構、入口広場	7. 9～8. 3		
東ゲート	7.12～8. 3	27	

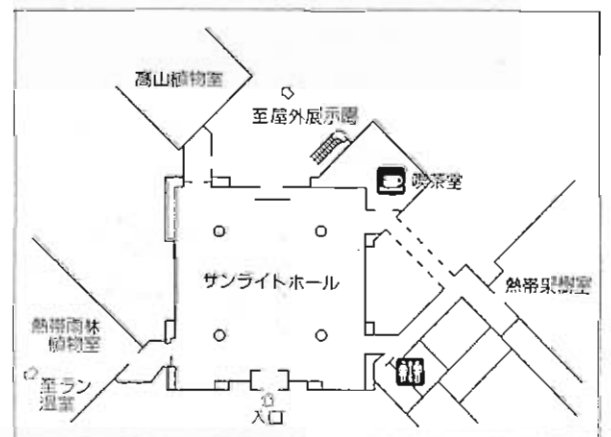
2. 施設平面図



植物園平面図



管理研修棟平面図



サンライツホール平面図

3. 雲南温室の概要

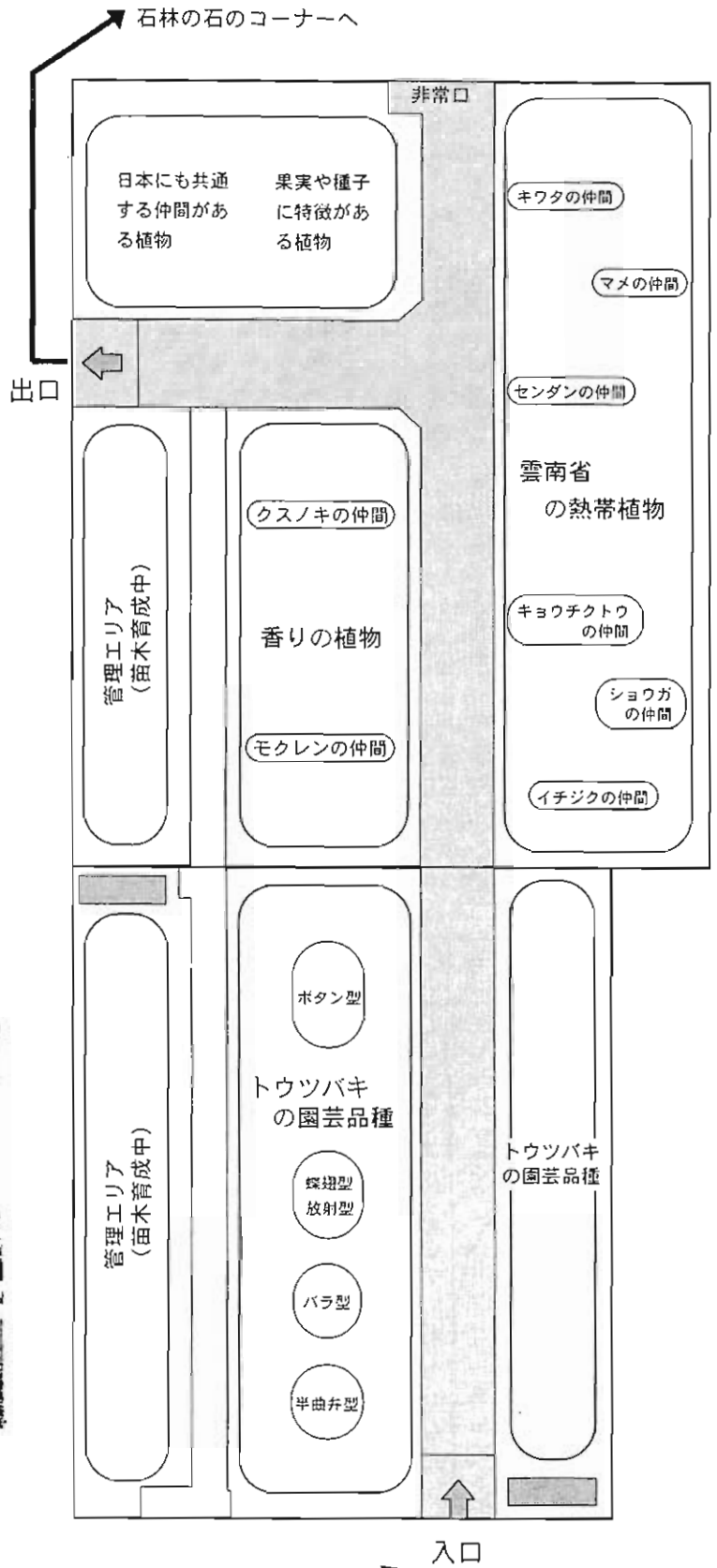
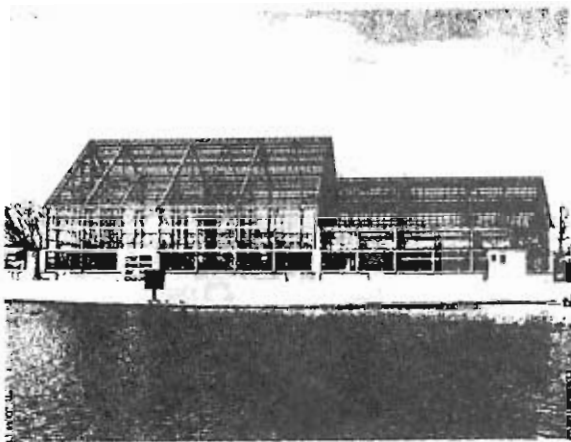
(平成12年2月18日完成、一般公開。536m²)

雲南温室は温度条件の異なる2つの温室からなっています。

1つは雲南省を代表するツバキの仲間のトウツバキ *Camellia reticulata* を中心に植栽したもので、花の形によって分けられた様々な園芸品種を配置しています。

もう一つは、雲南省の熱帯・亜熱帯の植物を展示しています。その他に、花や葉などに香りのある植物、果実や種子の形がユニークな植物、日本の植物と共通な仲間のある植物などを植栽しています。

管理エリアは、雲南省から導入した植物の苗木を育成したり、保存するエリアです。



サンライイトホール、
入園口

4. 整備事業費

(平成元年～平成7年度)

単位: 百万円

区分	平成元年度	2	3	4	5	6	7	合計
設計監理	26	88	52	21	90	11	9	297
造園工事		716	508	732		91	45	2,092
植栽工事		34	40	301	40	89	162	666
建築工事				863	1,034	1,120	811	3,828
備品			2	92	13		74	181
用地取得		977	959	32			74	2,039
雲南植物					10	3	10	23
石林の石						11	105	116
計	26	1,815	1,561	2,041	1,187	1,325	1,287	9,242

5. 利用統計

(1) 平成11年度月別入園者数(有料)

区分 (月)	個人		団体		地職組	特別観覧*				合計	
	大人	小人	大人	小人		大人	小人	大人 団体	小人 団体	大人	小人
4	5,880	414	263	80	31	1,486	99	0	0	7,660	593
5	8,183	672	1,136	0	121	-	-	-	-	9,440	672
6	2,370	102	2,447	13	27	-	-	-	-	4,844	115
7	1,912	131	473	39	23	1,271	95	0	0	3,679	265
8**	2,327	307	269	21	11	-	-	-	-	2,607	328
9**	1,967	116	485	2	22	-	-	-	-	2,474	118
10**	3,013	164	638	24	47	-	-	-	-	3,698	188
11**	1,720	149	445	5	13	-	-	-	-	2,178	154
12**	511	23	0	0	7	-	-	-	-	518	23
1**	1,298	62	0	0	22	-	-	-	-	1,320	62
2**	2,467	51	93	0	41	-	-	-	-	2,601	51
3**	2,931	183	276	0	120	-	-	-	-	3,327	183
合計	34,597	2,374	6,525	184	485	2,757	194	0	0	44,346	2,752

*夜桜観賞(平成11.4.10～4.11)、ゲッカビジン観賞(平成11.7.18～7.19)

**温室の部分閉鎖に伴う入園料の1/2減免(平成11.8.14～12.3.31)

(2) 平成11年度月別入園者数(無料)

区分 (月)	減免			乳幼児	その他	無料合計	
	一般・ 大学・ 高校	小学生	引率			大人	小人
4	396	1,470	465	793	11	872	2,263
5	403	422	297	833	15	715	1,255
6	64	519	442	591	37	543	1,110
7	145	138	143	235	11	299	373
8	23	71	46	270	4	73	341
9	72	57	66	164	5	143	221
10	151	75	111	307	30	292	382
11	199	119	54	273	27	280	392
12	2	13	2	61	0	4	74
1	7	12	6	98	61	74	110
2	32	33	23	191	69	124	224
3	24	21	47	484	13	84	505
合計	1,518	2,950	1,702	4,300	283	3,503	7,250

(3) 平成11年度月別入園者総数

区分 (月)	総計		
	大人	小人	合計
4	8,532	2,856	11,388
5	10,115	1,927	1,2082
6	5,387	1,225	6,612
7	3,978	638	4,616
8	2,680	669	3,349
9	2,617	339	2,956
10	3,990	570	4,560
11	2,458	546	3,004
12	522	97	619
1	1,394	172	1,566
2	2,725	275	3,000
3	3,411	688	4,099
合計	47,849	10,002	57,851

(4) 全面開園(平成8年)後の入園者数

年度	有料入園者		無料入園者		合計		総計
	大人	小人	大人	小人	大人	小人	
8	126,144	11,172	7,307	20,704	133,451	31,876	165,327
9	72,376	5,455	3,414	13,658	75,790	19,113	94,903
10	50,346	3,723	3,282	9,859	53,628	13,582	67,210
11	44,346	2,752	3,503	7,250	47,849	10,002	57,851
累計	293,212	23,102	17,506	51,471	310,718	74,573	385,291

(5) 研修室等利用団体数

年度	研修室			実習室	合計
	第1	第2	第1 + 第2		
8	のべ31団体 (1,064人)	4 (60)	25 (1,001)	1 (50)	61 (2,175)
9	43 (1,336)	7 (138)	12 (445)	4 (483)	66 (2,402)
10	21 (630)	4 (51)	29 (967)	3 (20)	57 (1,668)
11	20 (602)	6 (88)	27 (970)	8 (210)	58 (1,753)

5. 例規

●富山県植物公園条例(抜粋)

公布 平成5年9月30日 富山県条例第54号

改正 平成8年3月27日 富山県条例第14号

平成9年3月26日 富山県条例第 3号

(目的)

第1条 この条例は、富山が誇る豊かな植生等の自然環境を活用して総合的な植物公園の形成を図ることにより、県民に植物に関する多様な学習と憩いの場を提供し、もって県民の教育及び文化の向上並びに福祉の増進に寄与することを目的とする。

(県の責務)

第2条 県は、前条の目的を達成するため、植物公園の中核となる施設として富山県中央植物園を設置し、当該施設と県、市町村が設置する植物に関する展示等を行う施設との連携及びこれらの施設の利用の増進について必要な措置を講ずるものとする。

(設置)

第3条 県民に対し植物に関する総合的な知識の普及等を行うとともに、県内の植物に関する展示等を行う施設(以下「植物展示施設」という)と連携を図るため、富山県中央植物園(以下「中央植物園」という。)を設置する。

(位置)

第4条 中央植物園は、婦負郡婦中町に置く。

(事業)

第5条 中央植物園は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 植物及び植物に関する資料を収集し、保存し、展示すること。
- (2) 植物に関する専門的な調査研究を行うこと。
- (3) 植物に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (4) 中央植物園及び植物展示施設の利用の増進を図るために必要な連絡調整、技術指導、情報の提供等を行うこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、中央植物園の設置の目的を達成するために必要な事業。

(入園の拒否及び制限)

第6条 知事は、中央植物園に入園しようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入園を拒否することができる。

- (1) 中央植物園の秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設、付属設備、植物又は植物に関する資料(次条第1項において「施設等」という。)を汚損し、又は損傷するおそれがあるとき。

2 知事は、中央植物園の管理上必要があると認めるときは、入園を制限することができる。

(遵守事項等)

第7条 中央植物園に入園したもの(以下この条において「入園者」という。)は、次に掲げる事項を守らねばならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

- (1) 他の入園者に迷惑となる行為をしないこと。
- (2) 施設等を汚損し、又は損傷しないこと。
- (3) 施設等を汚損し、若くは損傷するおそれのある物品又は動物若くは植物を持ち込まないこと。
- (4) その他知事が特に指示した事項

2 知事は、入園者が前項の規定に違反したときは、その者に退園を命ずることができる。

(専用使用の承認)

第8条 中央植物園の施設のうち別表に掲げるものを専用して使用しようとする者は、あらかじめ、知事の承認を受けなければならない。

2 略

3 略

(使用料)

第9条 中央植物園に入園しようとする者及び前条第1項の承認を受けた者(第13条において「専用使用者」という。)は、それぞれ別表に定める金額の入園料又は専用使用料を納めなければならない。

2 中央植物園において特別に展示している植物または植物に関する資料を観覧しようとする者は、1,000円の範囲内で知事が定める金額の特別展示観覧料を納めなければならない。

(使用料の徴収方法)

第10条 入園料、専用使用料及び特別展示観覧料(以下「使用料」という。)は、知事の発行する納入通知書により徴収する。ただし、これにより難いばあいにおいては、口頭又は掲示の方法により現金で徴収する。

2 使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(使用料の減免)

第11条 知事は、特別の理由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(使用料の還付)

第12条 既に納入した使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(専用使用の承認の取消し等)

第13条 略

(管理の委託)

第14条 中央植物園の管理は、財団法人花と緑の銀行に委託する。

(県有の植物展示施設に対する措置等)

第15条 知事は、県有の植物展示施設のうち、その特色にかんがみ中央植物園と有機的かつ一体的に機能させ、及び利用の増進を図ることが適当であると認められるものを定め、そのために必要な措置を講ずるものとする。

2 知事は、前項の施設を定めたときは、その名称、所在地その他必要な事項を告示しなければならない。

(市町村等の植物展示施設との連携等)

第16条 中央植物園及び前項の施設は、市町村その他の公共団体又は公共的団体が設置する植物展示施設と有機的かつ一体的な利用が図られるよう、これらの施設との密接な連携に努めるものとする。

2 知事は、前項の植物展示施設の設置者の求めに応じて、同項の規定の趣旨を達成するために必要な助言を行い、又は援助の措置を講ずることができる。

(情報の提供)

第17条 知事は、植物展示施設その他関係機関等の協力を得て、植物公園等に関する情報を収集し、県民に対し、これを適切に提供するように努めるものとする。

(規則への委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附則 略

別表(第8条、第9条関係)

1 入園料

区 分	単 位	金 額	
		個 人	20人以上の団体
一般、大学の学生及び高等学校の生徒	1人1回につき	600円	480円
中学校の生徒及び小学校の児童		300円	240円

備考 知事が定める期間において午後4時以後で知事が定める時刻以後に入園しようとする者に係る入園料は、1人1回につき300円の範囲内で知事が定める額とする。

2 専用使用料

種別	使用時間区分による金額			超過料金1時間の金額
	9時から16時30分まで	9時から12時まで	13時から16時30分まで	
第1研修室	5,990円	3,000円	3,500円	1,000円
第2研修室	3,000円	1,500円	1,750円	500円
実習室	4,200円	2,100円	2,450円	700円
催し広場	3,720円	1,890円	2,190円	610円

備考

- 1 冷房又は暖房の期間中に第1研修室、第2研修室又は実習室を使用する場合の専用使用料は、この表に掲げる金額に、その額の20パーセントに相当する額を加算した額とする。
- 2 使用時間1時間未満の端数は、1時間として計算する。
- 3 使用時間を短縮した場合においても、専用使用料は、減額しない。

●富山県植物公園条例施行規則(抜粋)

公布 平成5年10月1日 富山県規則第56号

(趣旨)

第1条 この規則は、富山県植物公園条例(平成5年富山県条例第54号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(専用使用の承認申請)

第2条 条例第8条第1項の承認を受けようとする者は、専用して使用しようとする日(次条において「専用使用日」という。)の3月前から2週間前までの間に富山県中央植物園施設専用使用承認申請書(様式第1号)を知事に提出しなければならない。

(専用使用の変更等)

第3条 略

(休園日)

第4条 富山県中央植物園(以下「中央植物園」という。)の休園日は、次に掲げるとおりとする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、臨時に休園日を定め、又は休園日に開園することができる。

- (1) 木曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下この条において「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日以外の日)
- (2) 休日の翌日(土曜日、日曜日及び休日を除く。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日までの日

(開園時間等)

第5条 中央植物園の開園時間は、午前9時から午後5時まで(1月5日から1月31日まで及び11月1日から12月27日までの期間にあっては午前9時から午後4時30分まで)とする。

2 中央植物園に入園しようとする者は、午後4時30分まで(1月5日から1月31日まで及び11月1日から12月27日までの期間にあっては午後4時)までに入園しなければならない。

3 知事は、特別に必要があると認めるときは、前2項に定める時間を臨時に変更することができる。

(原状回復及び点検)

第6条 略

(施設等の汚損又は損傷の届出)

第7条 略

(細則)

第8条 略

附則 略

様式第1号 略

様式第2号 略

富山県中央植物園事業概要 第2号 (平成11年度)

平成12年7月10日 発行

編集兼発行：富山県中央植物園

〒939-2713 富山県婦負郡婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

発行所：財団法人花と緑の銀行

〒939-2713 富山県婦負郡婦中町上轡田42

印刷：株式会社 チューエツ
